

Phanによる PHPコード静的解析

公開補訂版

ピクシブ株式会社
うさみけんた @tadsan

！ お前誰よ



- うさみけんた (@tadsan) / Zonu.EXE
 - GitHub/Packagistでは id:zonuexe
- 2012年 自宅警備→ピクシブ株式会社
 - モバイルアプリ向けWebAPI開発とか
 - 今年の春からメンテナンスとしてチーム独立
 - 日常的なバグ修正から、アーキテクチャの改善
リファクタリングやテストなどいろいろ！

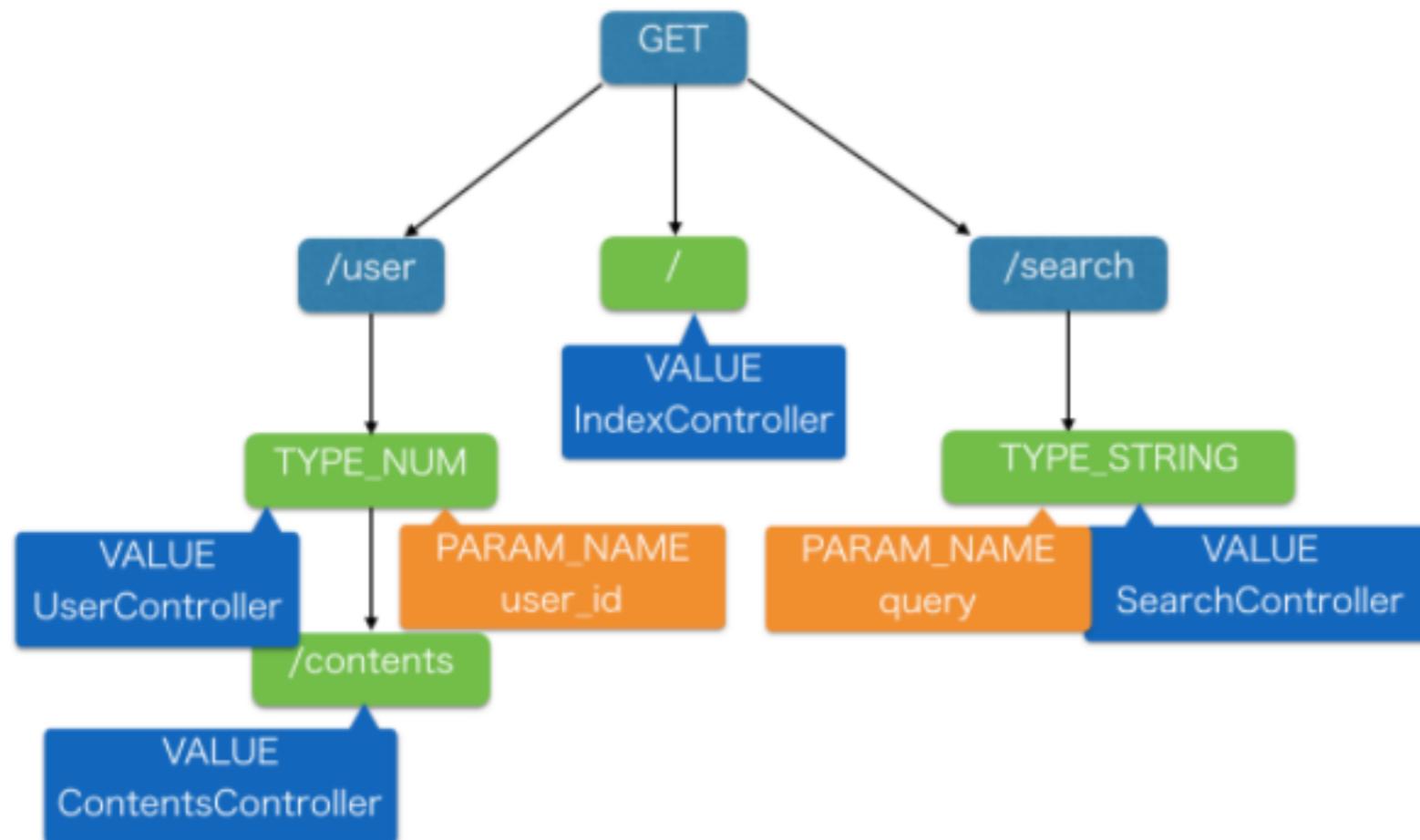
！おしごと

現実には動いている
(ユーザーさんが利用している)
サービスを破壊せずに
コードの健全さを向上したい



2015-12-13

PHPで高速に動作するURLルーティングを自作してみた



pixiv insideとは

ピクシブの事業・サービスを支えている知識と舞台裏の今を発信しています。

創作活動を楽しむためのサービス開発のあらまし、多大なトラフィックを扱うインフラストラクチャーの裏側、長年積み重ねてきた運用ノウハウ、個性豊かなピクシブメンバーの日常など、知られざるピクシブの内側をお見せします。

✓ 読者です 150

ピクシブで働きませんか？

ピクシブでは新卒・中途を問わず、技術で創作活動を楽しみたいエンジニア、デザイナー、総合職メンバーを募集しています。興味のある方はぜひ採用サイトからご応募ください！

そんなノウハウをキ"ュツと詰め込んだ

PHP大規模開発入門(連載中)



PHP大規模開発入門

- Vol.87: PHPDocでコードの品質を保つ
- Vol.91: 名前空間とオートローディング
- Vol.94: PHP初心者がハマりがちな落とし穴
……型のキャスト, 変数とリファレンス
- Vol.95: PHPの静的解析
……ドキュメントの生成, 問題箇所を発見

| PHP大規模開発入門

- Vol.87: [PHPDoc](#)でコードの品質を保つ
- Vol.91: 名前空間とオートローディング
- Vol.94: PHP初心者がハマりがちな落とし穴
……[型](#)のキャスト, 変数とリファレンス
- Vol.95: PHPの静的解析
……ドキュメントの生成, [問題箇所](#)の発見

おしながき

- PHPと型
- PHPDocとは何か
- Phanの紹介

| PHPと型

動的型検査

- プログラムを動かしながら(←動的) 手さぐりで型を調べる(←型検査)

```
$a = 13; $b = "2";  
echo $a + $b;
```

- 「\$aの型はintだな、\$bの型はstring…
だけど数字だから足しげんできるね！」
……みたいな茶番を毎回やってる

PHPの型

- 変数に型はないが、値が型を持つ
 - C言語みたいに `int id` のような定義はできない
 - `64` と `'A'` は厳然とした別の型の値
 - `'64' == 64` のような比較が成り立つ設計
- 関数は型宣言できる（ただし動的検査）

PHPの型の種類

- 整数(int) 浮動小数点数(float) 論理値(bool)
文字列(string) 配列(array) リソース(resource)
オブジェクト(object) ヌル値(null)
 - PHP5ではarrayのみ宣言に記述できる
 - 7.0ではint, float, string, boolが記述できる

型宣言(PHP7)

PHP7の関数(メソッド・クロージャ含む)は、引数と返り値に型を定義することができます

```
// PHP 5
```

```
function trapezoid($h, $a, $b) {  
    return $h * ($a + $b) / 2;  
}
```

```
// PHP 7
```

```
function trapezoid(float $h, float $a, float $b): float  
{  
    return $h * ($a + $b) / 2;  
}
```

動的型検査の弱点

- プログラムを動かしてみないとわからない

```
$a = 13; $b = [];  
// 環境依存の分岐 (本番環境じゃないと動かない)  
if (is_production()) {  
    echo $a + $b; // 検出できない  
    echo 1 + []; // ←これはPHP7で検出できるようになった  
}  
function f(): int {  
    return []; // これも検出できない  
}
```

! PHPDoc# とは何か

DocCommentとリフレクション

- 定義文(クラス・関数・メソッドなど)に付属する特別なコメント(/** ~ */ の範囲)を実行時に文字列として取得することができる(DocComment)

```
/** ここはDocCommentだよ */  
function hoge() {  
}  
  
$ref = new \ReflectionFunction('hoge');  
echo $ref->getDocComment();  
// => "/* ここはDocCommentだよ */"
```

| PHPDoc型注釈

DocCommentに型定義を注釈として記述する記法。
PhpStormやPhanが解釈してくれる。

```
/**
 * @param float $h
 * @param float $a
 * @param float $b
 * @return float
 */
function trapezoid($h, $a, $b) {
    return $h * ($a + $b) / 2;
}
```

| PhpStormの型表示



```
trapezoid(5, |);
```

h : float, a : float, b : float

PHPDocの型

- 基本はPHPの型かクラス名を書く
- `callable`, `$this`, `self`, `static`, `void`なども有効
- 複合型 (Union/Multiple types)
 - 「`int`または文字列」 `int|string`
- 値が並んでるもの (配列/Collection)
 - 「`int`が並んでるもの」 `int[]`
- <https://zonuexe.github.io/phpDocumentor2-ja/references/phpdoc/types.html>

なぜPHPDoc型注釈？

- いきなり実装コードに型定義を追加すると、
いままで顕在化しなかったバグが発生するおそれ
- 不用意なキャストや型検査でエラー発生
- PHPDocはただのコメントなので、
稼働中のコードの挙動を変更せず検査できる
- 現行のPHPの型定義以上の型付けを表現できる
 - 複合型やコレクション(array → int[])
 - PHP5で対応できない string, int など

これだけ覚えて帰ってね

タグ名	意味	例
@param	引数を定義	@param int \$n1
@return	返り値を定義	@return int[]
@var	変数/プロパティを定義	@var int
@property	<u>マジック</u> プロパティを定義	@property int \$id

ふつうのプロパティは@propertyじゃなくて
@varなので注意 (Phanは@property未対応)

プロパティの例 (@var)

ふつうのプロパティの場合は @var を使って書く

```
final class Book {  
    /** @var string */  
    public $title;  
    /** @var \MyApp\Author[] */  
    public $authors;  
    /** @var \MyApp\ISBN */  
    public $isbn;  
}
```

プロパティの例 (@property)

拙作の [zonuexe/objectsystem](#) を使った場合

```
/**
 * @property string          $title
 * @property \MyApp\Author[] $authors
 * @property \MyApp\ISBN     $isbn
 */
final class Book {
    use \Teto\Object\TypedProperty;
    protected static $property_types = [
        'title'    => 'string',
        'authors' => 'MyApp\Author[]',
        'isbn'     => '?MyApp\ISBN',
    ];
}
```

型注釈を使ったハック

複合型とコレクション(型の配列)を組み合わせる

```
/** @return Book[]|\ArrayObject */  
function getBooks() {  
    $data = hogehoge();  
    return new \ArrayObject($data);  
}  
  
$books = getBooks();  
$books->| // ここで \ArrayObject の補完が効く  
  
foreach ($books as $book) {  
    $book->| // ここで Book の補完が効く  
}
```

| Phanの紹介

| Phanとは何か

- ハンドメイドマーケットを運営する
アメリカのEtsy社が開発する静的解析ツール
<https://github.com/etsy/phan>
- 現在PHP作者のRasmus Lerdorf が所属し、
Phanの開発にも参加してる
- PHPの型定義と型注釈を両方見てくれる
 - ただし、`@property`と`@method`未対応

Phanの導入

- <https://github.com/etsy/phan/releases>
最新のタグが付いている .phar ファイルをダウンロード
- PHP7 と php-ast が必須
 - ただしラッパースクリプトを用意すれば、
サービスがPHP7で稼動してなくても動かせる

```
#!/bin/sh  
/path/to/php7/bin/php ${PHAN_BIN:-/path/to/bin/phan} "$@"
```

| Phanの設定

- はじめにWikiから設定ファイルをコピーして、プロジェクトの `.phan/config.php` に保存

<https://github.com/etsy/phan/wiki/Getting-Started#creating-a-config-file>

```
// ディレクトリホワイトリスト
'directory_list' => [
    'src',
    'vendor/symfony/console',
],
// ディレクトリブラックリスト
'exclude_analysis_directory_list' => [
    'vendor/'
],
```

| Phanの設定(そのほか)

- 'generic_types_enabled' => bool
 - @templateタグ(ジェネリック)有効/無効
- 'suppress_issue_types' => string[]
 - 無視するIssueタイプを指定する
- 'plugins' => string[]
 - Phanプラグインを追加できる
 - サンプルとしてDollarDollarが添付されている
 - \$\$var (可変変数)を検出

| Phan コマンド

- `-o, --output <filename>` 出力ファイル指定
- `-m <mode>, --output-mode` 出力形式
- `-x, --dead-code-detection` デッドコード検出
- `--backward-compatibility-checks` PHP7互換性
- `-j, --processes <int>` 並列実行数
- `-p, --progress-bar` 進捗バーを表示

```
./phan-wrapper -m csv -o phan.csv -x -j4 \  
  --progress-bar --backward-compatibility-checks
```

| Phan 出力

- デフォルトの場合の出力

```
pixiv-lib/Illust/Common.php:738 PhanTypeMismatchArgumentInternal  
Argument 1 (month) is string but \checkdate() takes int  
pixiv-lib/Illust/Common.php:738 PhanTypeMismatchArgumentInternal  
Argument 2 (day) is string but \checkdate() takes int  
  
path/to/file.php:333 PhanTypeMismatchArgumentInternal This is message.
```

- PhanTypeMismatchArgumentInternal はIssueと呼ばれる
- Issueごとに出力するを制御可能(@suppressタグ)

| Phan Issueいろいろ

- PhanParamTooFew / PhanParamTooMany
 - 引数が足りない / 多い
- PhanParamTypeMismatch
 - 引数の型が間違ってる
- PhanRedefineClass / PhanRedefineFunction
 - 同名のクラス / 関数がいくつも定義されてる

| PhanUndeclaredClassCatch

存在しないクラスでキャッチしようとしてないか

```
// PHP 5
namespace MyApp;

try {
    foo();
} catch (RuntimeException $e) {
    // ↑ \MyApp\RuntimeException
} catch (\Exception $e) {
    // ↑ \Exception が正しい
}
```

| PhanUndeclaredClassInstanceOf

存在しないクラスでinstanceofしてないか

```
namespace MyApp;

$e = get_error();
if ($e instanceof RuntimeException) {
    // ↑ \MyApp\RuntimeException
} elseif ($e instanceof \Exception) {
    // ↑ \Exception が正しい
}
```

| PhanTypeMismatchForeach

foreachできない値をforeachしようとしてる

```
$iter = null;  
// E_WARNING  
foreach ($iter as $i) {  
    echo $i;  
}
```

| PhanTypeMismatchReturn

定義と違った型の値を返してる

```
/** @return void */  
function f() {  
    return null;  
}  
  
function g():int {  
    return [];  
}
```

| PhanTypeMissingReturn

特定の型を返すべきだが、何も返していない

```
/** @return int */  
function g(){  
    return;  
}
```

| PhanTypeVoidAssignment

実際にはnullが代入されるが
voidは「データがない」を意味するので適切ではない

```
/** @return void */  
function g(){ return; }  
  
$result = g();
```

| PhanNoopXXXX

無意味なコードを検出する

```
// 代入しない配列 PhanNoopArray  
[1, 2, 3];
```

```
// 代入も実行もしないクロージャ PhanNoopClosure  
function(){ return awesome(); };
```

```
// returnしていないので無意味 PhanNoopProperty  
class C {  
    public $p;  
    function f() { $this->p; }  
}
```

| PhanDeprecatedFunction

廃止予定/非推奨のメソッドを利用。
古い実装を新しいものに置換する際に
@deprecated を付けておくと洗い出せてべんり

```
function newAwesomeFunc(){}
```

```
/** @deprecated */
```

```
function oldFunc(){}
```

```
oldFunc(); // PhpStormは取り消し線で表示
```

| Phan独自のアノテーション

`@suppress <issue_type>`

クラス・メソッドなどの範囲でIssueを無効化する

```
/** @suppress PhanUndeclaredConstant */  
class C {  
    function f() { return AWESOME_CONSTANT; }  
    /** @supress PhanUndeclaredProperty */  
    function g() { return $this->p; }  
}
```

| Phan独自のアノテーション

@template 型変数(ジェネリック)

```
/** @template T1 */  
class Container {  
    /** @var T1 */  
    private $value;  
    public function __construct($value){ $this->value =  
$value; }  
    function getValue() { return $value; }  
}
```

| Phanの制限

- `define()`関数での定数定義はサポートされない
 - 動的に定義されるため (`const`は静的)
 - Reference to undeclared constant 扱い
- `@method` には対応してない
 - `__call()` を使ったProxyパターン殺し

| Phanのめんどくさいところ

- 重い
 - ファイル数にもよるが数十秒～かかる
- 標準化されていないPHPDocに惑わされる
 - PhanTypeMismatchReturn Returning type bool but insert() is declared to return \成功
 - 「@return 成功 true 失敗 false」

Phanの注意点

- メソッド／プロパティの動的定義に未対応
 - `__get()`, `__set()`, `__call()`, `__callStatic()` など
 - PHP用語としての「オーバーロード」
<http://php.net/manual/ja/language.oop5.overloading.php>
- 定数の動的定義にも未対応
 - `define()` はだめ。 `const`文ならOK。

Phanの比較対象(競合)

- 定番：PHP Mess Detector (PHPMD)
 - さまざまな指摘をしてくれるが、型検査はなし
- 似たサービスもいくつかある (private有料)
 - Scrutinizer, SensioLabsInsight, CodeClimate
 - これらコードの怪しい兆候を細かに教えてくれる
 - 型検査の精度ではPhanの方が良く見える

まとめ

- PHPDocの型注釈は動作に影響を及ぼさずに型を宣言することができる
- Phanはソースコードを動作させずに解析できる
- Phanで静的解析することで、リファクタリングのリスクを減らすことができる
- 廃止予定の非推奨メソッドには `@deprecated` をつける習慣をつけると殲滅が捗る